

達成度：R3.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

住民協働課の目標（令和 2 年度）自己評価書

住民協働課長 渡辺幸夫

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 住民活動団体の支援</p> <p>地域の活性化や課題等に取り組むための、住民団体等の自由で自発的な公益活動に対する住民提案型の住民公益活動補助金の交付や、ミーティングルームなど活動拠点の支援により住民活動団体の活性化を図るとともに、住民活動団体の活動状況を広めます。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・住民公益活動補助金については新型コロナウイルスの影響により事業を中止しました。 ・ミーティングルームを効果的に活用していただくことで住民活動団体の活性化を図ることができました。
<p>2 住みよい地域づくりの推進</p> <p>もっとも身近な住民組織の自治会等と行政は、地域住民の住みよい環境をつくるという目的を共有しており、自治会等の運営について支援します。</p> <p>また、地域担当員が自治会等との連携が図れるよう支援します。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会（36 団体）に自治振興助成金を交付しました。 ・各自治会長（39 地区）に行政協力を依頼し、自治会と行政のパイプ役として活動していただくことができました。（会議はコロナの影響を考え中止） ・「行政協力の手引き」をご活用いただき、自治会役員同士の引継ぎを円滑に行う手助けができました。 ・各地域に地域担当員を配置し、住民と行政の緊密な関係を築くことに努めました。
<p>3 協働意識の普及と啓発</p> <p>公共や公益を担い支えるのは行政だけではなく、住民等との協働のうえに成り立つという意識を持ち、協働のまちづくりへの理解を深めるための講演会等を実施します。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により「協働のまちづくり研修会」は中止しました。

<p>また、住民と行政の協働活動として、公園等愛護活動推進事業や資材等支給事業を推進します。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・住民と行政の協働活動として、地域の公園等の環境美化を目的とした公園等愛護活動を実施、公園数等20箇所、13団体の協力を得られました。 ・町が資材及び機材等を支給し、住民自らが施工する資材支給事業により、農道整備等3箇所の環境改善を図ることができました。
<p>4 高齢者・団塊世代の生きがい就業支援 高齢者や団塊の世代の社会参加と生きがい就労を目的とした「酒々井町シルバー人材センター」の運営を支援します。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金として140万円を交付し、運営を支援しました。
<p>5 男女共同参画社会形成の促進 男女共同参画社会形成についての理解を深めるため、県から委嘱される地域推進員と協力して啓発事業や情報提供を行い、男女共同参画社会形成への意識を高めていきます。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県男女共同参画地域推進事業(北総地域)への参加、運営協力をしました。 ・新型コロナウイルスの影響により男女共同参画講演会は中止しました。
<p>6 地区集会所等への補助 各地区の集会所等に対して管理費、修繕費、増改築費、建設費等について助成します。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所等を管理する自治会(29団体)に地区集会所等管理費補助金を、集会所等の修繕が必要な3施設については修繕費補助金を交付しました。
<p>7 各課業務の推進及び支援 多様化する住民ニーズ、高度・複雑化する行政課題に対して、限られた人員・予算を最大限活用し行政サービスを提供するため、行政経験が豊富な再任用職員による応援体制を組んで、担当する職員と再任用職員が協働で業務に取り組み、各課の業務の効率化等の推進を図ります。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課と協働で取り組み、業務の効率化を推進することができました。 ・令和2年度実績として、各課からの業務依頼件数312件、業務処理件数722件、業務従事人員延べ652人

<p>8 チャレンジ目標</p> <p>①地域課題解決や新たな町の政策形成等に寄与する創造的なまちづくりの研究事業を行う拠点の「酒々井まちづくり研究所」について再考を図るよう検討します。</p> <p>②「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」の開催について再考を図るよう検討します。</p> <p>③男女共同参画の意識の醸成を図るため、普及啓発に努めます。</p> <p>④公共活動広場用地の管理を円滑に図れるよう検討します。</p> <p>⑤多目的協働施設について、既存建物を住民公益活動団体の拠点や集会等ができる施設として役割が果たせるように整備を進めます。</p>	<p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>の応援体制を組んで支援を行いました。</p> <p>①新型コロナウイルスの影響により中止しました。</p> <p>②輝く創年とコミュニティ・フォーラムについては、新型コロナウイルスの影響により開催を中止しましたが、事業内容を精査し生涯学習課へ移管することに決定しました。</p> <p>③「酒々井町男女共同参画計画」について、各課の取り組み状況を調査し、公表しました。</p> <p>④公共活動広場用地について、樹木管理・除草等を行いました。</p> <p>⑤多目的協働施設（下宿ベース）について、住民の活動の場として活用できるよう整備を行いました。</p>
---	--	--